

# 松梅校道徳通信

令和8年6月25日  
文責：田平

## 6月は「生命の尊さ」について考えました

今年度2回目の研究授業が6月17日（水）に行われました。今回のテーマは「生命の尊さ」です。小学3年生、中学1年生、3年生が、それぞれの学年に応じた教材で取り組みました。ぜひご家庭でもお子さんと「生命の尊さ」について話し合ってみてください。

### 小学3年生

#### 「ヌチヌグスージ（いのちのまつり）」



自分の命は遠い先祖から受け継がれてきたもの、宇宙の始まりから続いていることを知った主人公の気持ちに共感することで、生命の連続性やご先祖様への感謝の気持ちについて考えることができました。

#### 児童の意見

・ご先祖様がいっぱいいて、いのちをつないでいることがわかりました。  
・ご先祖様に命のバトンをもらったから、次は自分がいつかあげる番だと思いました。

#### 保護者の方の感想

・自分だけでなく、周りの人たち一人一人にも、それぞれたくさんのご先祖様がいるということに改めて考える機会となりました。  
・ご先祖様に感謝しながら生きて下さい。

### 中学1年生

#### 「動物の命—私たちにできること」



無責任な飼い主のせいで殺処分される動物たちの実態とともに、懸命に命を救うために一匹一匹の命と向き合う人々の姿を通して、生命の重みや尊さについて考えを深めました。生命を尊重しようとする思いをもつことができました。

#### 生徒の意見

・動物の殺処分について、ひとつの命を大事にすればするほど、他の命が助からなくなったりするということが残こくだなと思いました。

#### 保護者の方の感想

・動物をかわいがる気持ちはとても大事ですが、それには責任が伴うということも考えなければならぬと思う。野生動物に対しても、むやみにエサをあげないこと、自然環境を守ることが動物の命を守ることに繋がると思う。

### 中学3年生

#### 「命を守る」困難な状況での判断について



震災が起き、避難所で主人公がとった行動について、自分はどうか、何を優先したいか等の考えを出していき、命の大切さについて熟考することで、究極の環境の中での判断の難しさ、命の尊さを改めて考えました。

#### 生徒の意見

・最初は絶対にルールより命を優先すべきだと思っていたけれど、ルールを守らないと困る人が出てくる可能性があるし、最悪の場合は命を落とすかもしれないという意見を聞いて、納得できずし難しかった。

#### 保護者の方の感想

・ルールを守ることが大事だが、自分ももし極限状態に陥った時には、ルールよりも家族や自分の命を優先してしまいそう。よくないことだが、あの時使っていたら…と考え続けてしまう。